

事例5-3

取組名	防災システムの構築を切り口としたデジタル化の推進		
町会名	さとやま べきたこまつ 里山辺北小松町会（里山辺地区）	町会 データ	・人口／1,597人 ・世帯数／725世帯 ・高齢化率／26.4％ ・町会加入数／523世帯 ・常会数／3ブロック ・隣組数／47組
取組概要	○ 北小松防災力向上委員会を設立し、防災学習会やデジタル学習会を開催 ○ 町会ホームページとともに町会専用LINE公式アカウント開設し、LINEを活用した安否確認訓練を実施		

背景・課題

- ・ 当町会では、防災連絡網を整備し、防災訓練を実施していたが、実際に災害が起こったときに、これらが本当に機能するのか疑問があった。
- ・ そのため、デジタルを活用した新たな防災システムの立ち上げが必要と考えた。
- ・ 現在、LINE公式アカウントの登録数は、400程度に留まっているため、更に多くの住民に登録してもらえよう、取組みが必要と感じている。
- ・ ホームページ運用のマニュアル等を作成し、引継ぎができるよう準備をしているが、デジタル人材の後継者づくりが課題である。

経過・取組内容

- ・ R4年度に「北小松防災力向上委員会」を立ち上げ、防災意識の向上とデジタル化の推進を図るため、外部講師による防災学習会及びデジタル（スマートフォン・パソコン）学習会を開催した。
- ・ R4年度、市の地域づくりセンター強化モデル事業の一環として交付された地域自治支援交付金を活用し、町会ホームページを作成するとともに、町会専用LINE公式アカウントを開設した。
- ・ 町会ホームページでは、町会配布・回覧文書を掲載して情報発信を行った。
- ・ 一方、LINE公式アカウントでは、町会からの情報発信だけでなく、災害時にLINEで安否確認ができる仕組みを整え、防災訓練にも活用することとした。



ホームページ及びLINE公式アカウント開設の案内（回覧）

成果・今後の展望等

- ・ ホームページ及びLINE公式アカウントの開設により、災害時の安否確認等が迅速になると同時に、平時の情報発信も容易になった。

【ポイント】

- ▼ 新たな防災システムの整備を通じて、町会のデジタル化を推進